



『真剣に取り組むことの大切さ』

さいたま市立七里小学校
校長 舘 和 成

猛暑日が続いてとても暑かった夏休みが終わり、学校に色々な経験をして一回り成長した子どもたちが戻ってきました。まだまだ残暑の厳しい日が続いていきますが、1日も早く学校に通う生活リズムが整いますよう、各御家庭でのお声掛けをお願いします。

この2学期は、運動会や各学年での校外学習を予定しています。日常の学習活動はもちろんのこと、一つ一つの行事や取組において、子どもたちが学んできたこと、身に付けてきたことを発揮してやり遂げ、達成感や感動することに繋げていきたいと考えています。達成感や感動を味わうことは、子どもたちを大きく成長させるからです。行事や取組で達成感や感動をもつことができるかどうかは、その過程でどれくらい「真剣」に取り組むことができたかが関わってきます。「真剣」とは、「本気で物事に取り組むこと」です。いい加減に手を抜いて取り組んだのでは、達成感や感動、その先の成長に繋がっていきません。学校に通い、学年やクラスの仲間とともに生活している今こそ、何事にも「真剣」に取り組んでほしいと思います。我々教職員も一丸となって「真剣」に教育活動に向き合い、子どもたちに「真剣」に取り組むことの大切さを伝え、ともに達成感や感動を共有することができるよう、指導してまいります。

『さいたま市ストップいじめ！子どもサミット』

8月2日（金）、さいたま市立大宮国際中等教育学校において「さいたま市ストップいじめ！子どもサミット」が行われました。子どもたちが、いじめ問題を主体的に考えるとともに、互いの取組を知ることで、「いじめをさせない、許さない」機運を醸成し、各学校の多様な取組を一層推進することを趣旨とし、さいたま市立学校の代表児童生徒、教職員、保護者、地域団体、関係行政機関より約700名が参加しました。各教室に分かれてのグループ協議とワークショップ形式の発表があり、最後に参加者全員が一堂に会して全体会を行いました。七里小学校は、大久保小学校、指扇中学校、桜山中学校と同じグループになりました。七里小は、児童会長が代表として参加し、「ストップいじめ！」について考えるグループ協議やワークショップ形式でのいじめ防止に向けた取組の発表で、これまでの取組、事前の準備、練習の成果を発揮して、堂々と意見を述べたり、七里小の取組について、落ち着いて上手に発表したりすることができました。大変立派でした。このサミットを通して、いじめの防止とともに、笑顔、あいさつ、誰とでも仲よくしていくことなど、学校やクラスの明るい雰囲気づくりについても考えるよい機会となりました。

保護者の皆様におかれましては、これまで同様、質問や心配なことがありましたら、学校まで御連絡ください。また、お子様の普段の様子を学校に見に来ていただくことも可能ですので、その際は職員室までお声掛けください。

2学期も保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御支援、御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

昨年度までスクールアシスタントとして勤務していた吉岡弘子（よしおかひろこ）先生が、9月2日（月）より本校に着任します。主に学級指導の補助を行います。